

富山きときと空港の現状と課題

令和3年8月26日

富山県



空港の概要

1 空港の基本情報

- ・ 開港 S38.8.20 (ジェット化 S59.3.18)
- ・ 運用時間 **14時間30分** (7:00~21:30)
- ・ 滑走路 **2,000m×45m**
- ・ スポット 中型ジェット機 4バス
小型ジェット機 1バス
コピューター機 1バス
小型機 8バス
- ・ CIQ **常駐** (税関・入国管理・検疫)
- ・ 利用者数 **R2 67,136人 R1 545,233人**
- ・ 立地 **市街地まで 7 km** 富山ICまで5分
- ・ 駐車場 1,642台 (**無料1,531台**・有料111台)
- ・ 特徴 日本で唯一の**河川敷空港**

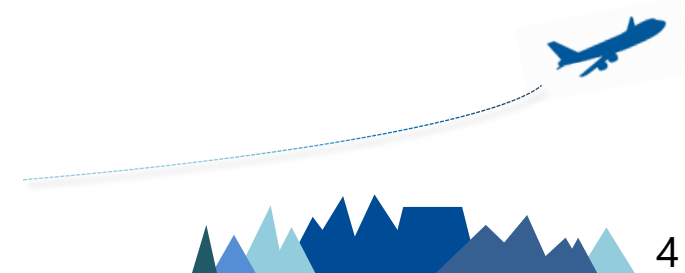




現状と課題の整理

2 空港を取り巻く環境（外的要因）

- **新型コロナウイルス感染症**の感染拡大と長期化
- **人口減少**に伴う航空需要の減少
- **北陸新幹線**との競争と共存
- アフターコロナの**景気回復**と**観光需要の増加の期待**
- 「新しい生活様式」の浸透による**旅行需要・ビジネス需要の変容**
- LCCの拡大やリージョナルジェットによる**地方間運航の増加**
- 海外・国内での**民営化・コンセッション導入**に向けた動き
- **先端技術・DXの進展**



3 空港を取り巻く環境（内的要因）

- ・ **新型コロナウイルス感染症の影響**による国内線の一部運休・国際線の全便運休
- ・ 空港施設の**歳出超過の拡大と着陸料収入の減少**
- ・ **施設の老朽化**に伴う今後の更新・投資費用の増嵩
- ・ 空港から観光地に直行する交通手段が限定的
- ・ **北陸新幹線**による首都圏からの流動量の増加
- ・ **ビジネスジェット**の利用強化に向けた動き
- ・ 国際線定期路線の充実と**CIQの常駐**
- ・ **県内産業界、観光業界や近隣県との連携機運**の高まり



4 課題

- ・ **アフターコロナの航空需要回復**を見据えた誘客促進
- ・ 既存路線の維持・活性化と新規路線の開拓など**航空ネットワークの充実・強化**
- ・ 「**新しい生活様式**」や**多様化するニーズ**に応じた誘客
- ・ 空港利用の**機運醸成と利用圏域拡大**
- ・ **県内産業や観光資源、近隣県などとの連携強化**
- ・ 空港施設の**維持管理の効率化**と老朽化により増嵩する**更新・投資への対応**
- ・ **官民連携**による空港経営改革の検討

